



報道発表資料の配付日時 6月21日(月) 16時00分

発表項目 (行事名)	本道の食品ロス発生量(平成30年度)の推計について																		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																	
		発表場所																	
概要	<p>○ 北海道では、本年3月に「北海道食品ロス削減推進計画」を策定し、食品ロスの削減に向けた施策を推進しています。 この度、国において平成30年度食品ロス発生量の推計値(600万トン)が公表されましたが、道においても同様の手法で、本道の平成30年度の食品ロス量を推計したところ、34万トンとなりました。</p> <p>○ 北海道における食品ロス発生量34万トンのうち、食品製造業や外食産業などの事業系は23万トン(発生量の67.6%)、家庭系は11万トン(発生量の32.4%)となっており、北海道では、食品製造業が盛んであることから事業系食品ロスの割合が全国と比べて高くなっています。</p> <p>■ 北海道の食品ロス発生量の推計値(平成30年度(2018年度)) ■ 34万トン (+1万トン) 〔うち、事業系の食品ロス発生量 : 23万トン (+1万トン) 家庭系の食品ロス発生量 : 11万トン (±0万トン)〕 ※ ()内は前年度からの増減量</p> <p>○ 道では、今後とも、消費者や食品関連事業者、関係機関・団体などと連携して、食品ロスの削減に取り組んでまいります。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「北海道食品ロス削減推進計画」 (抜粋)</p> <p>4 数値目標 (1) 食品ロス発生削減目標 平成29年度(2017年度)を基準に、令和12年度(2030年)までに、食品ロス量を20%削減するものとしします。</p> <table border="1" data-bbox="909 1299 1428 1512" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成29年度 (2017年度) 【現状】</th> <th>令和12年度 (2030年度) 【目標】</th> <th>削減量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品ロス量</td> <td>33万[㌧]</td> <td>26万[㌧]</td> <td>△7万[㌧]</td> </tr> <tr> <td>うち事業系</td> <td>22万[㌧]</td> <td>17万[㌧]</td> <td>△5万[㌧]</td> </tr> <tr> <td>うち家庭系</td> <td>11万[㌧]</td> <td>9万[㌧]</td> <td>△2万[㌧]</td> </tr> </tbody> </table> </div>			区 分	平成29年度 (2017年度) 【現状】	令和12年度 (2030年度) 【目標】	削減量	食品ロス量	33万 [㌧]	26万 [㌧]	△7万 [㌧]	うち事業系	22万 [㌧]	17万 [㌧]	△5万 [㌧]	うち家庭系	11万 [㌧]	9万 [㌧]	△2万 [㌧]
区 分	平成29年度 (2017年度) 【現状】	令和12年度 (2030年度) 【目標】	削減量																
食品ロス量	33万 [㌧]	26万 [㌧]	△7万 [㌧]																
うち事業系	22万 [㌧]	17万 [㌧]	△5万 [㌧]																
うち家庭系	11万 [㌧]	9万 [㌧]	△2万 [㌧]																
参 考	添付資料: 北海道食品ロス発生量の推計(H30年度分)について																		
報道(取材) に当たって のお願い	食品ロスの現状を周知することにより、広く道民の皆様が食品ロス削減について関心を高めていただけますよう、積極的な情報提供をお願いいたします。																		
他のクラブ との関係	同時配付:(場所) 同時レク:																		
担 当 (連絡先)	農政部 食の安全推進局 食品政策課 (担当者:関本) TEL ダイヤルイン 011-204-5427 内線 27-666																		

北海道の食品ロス発生量の推計（H30年度分）について

国の平成30年度の食品ロス発生量の推計600万トン（事業系324万トン、家庭系276万トン）に基づき、次のとおり推計

■北海道の食品ロス発生量の推計値（事業系+家庭系）

34万トン

1 事業系の食品ロス発生量（23万トン）

【算出方法】

- (1) 食品廃棄物等の発生量
食品リサイクル法に基づく定期報告（食品廃棄物等の年間発生量100トン以上の食関連事業者）の数値に、業種区分毎に国の推計と同じ割合で、年間発生量100トン未満の事業者の発生量を推計し、定期報告の数値と合計
- (2) 食品ロスの発生量
(1)の数値に、可食部の割合を掛けて算出
※ 業種毎の可食部の割合は国の数値を使用し、業種毎の食品廃棄物発生量で加重平均して全体の割合を算出

(1) 食品廃棄物等の発生量
200万トン

(2) 食品ロスの発生量
 $200万トン \times 11.3\% = \underline{23万トン}$

2 家庭系の食品ロス発生量（11万トン）

【算出方法】

- (1) 食品廃棄物等の発生量
環境省の「食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査」に基づき、食品廃棄物の発生量を把握・推計している市町村の発生量から全道分を推計
- (2) 食品ロスの発生量
(1)の数値に、上記調査で示された全国の食品廃棄物等の発生量に対する食品ロスの発生量の割合を掛けて算出

(1) 食品廃棄物等の発生量
31万トン

(2) 食品ロスの発生量
 $31万トン \times 36.0\% = \underline{11万トン}$

○ 北海道食品ロス推計値

[単位：万トン、%]

	H30	H29	H28	H27
食品ロス計 (前年度比)	34 (103.0)	33 (97.1)	34 (87.2)	39 —
事業系 (前年度比)	23 (104.5)	22 (95.7)	23 (82.1)	28 —
家庭系 (前年度比)	11 (100.0)	11 (100.0)	11 (100.0)	11 —

○ 全国食品ロス推計値

[単位：万トン、%]

	H30	H29	H28	H27
食品ロス計 (前年度比)	600 (98.0)	612 (95.2)	643 (99.5)	646 —
事業系 (前年度比)	324 (98.8)	328 (93.2)	352 (98.6)	357 —
家庭系 (前年度比)	276 (97.2)	284 (97.6)	291 (100.7)	289 —